

秋の初雪に大はしゃぎ

9月開催の枚方まつりに約6万3000人



26日・27日にニッペパーク岡東中央など市役所周辺で枚方まつりが開催され、約6万3000人

でにぎわいました。今年はあいにくの雨でしたが、多くの家族連れが子どもたちのダンスステージや焼きそばなどの屋台を楽しんでいました。中でも一足早く雪遊びを体験できるコーナーは大盛況で積もる雪に寝転がる子どもの姿も。楠葉から訪れたきょうだいの万丈さん(5歳・写真右)と千道さん(3歳・写真左)は「10回以上そりで滑った。来年も一緒に来たい!」と手に雪を乗せ、笑顔でした。

まちの話題

話題のニュースやイベントなどを紹介!

事故防止をパスで呼びかけ

交通安全運動式典に大阪ブルテオンの3選手



9月21日～30日に実施された秋の全国交通安全運動に先立ち、18日にニッペパーク岡東中央

で式典が開かれました。市内では8月末日時点で昨年同時期と比較して交通事故が57件増加。出席した市PR大使の男子バレーボールクラブ・大阪ブルテオンの中村駿介選手をはじめ3人の選手が、交通安全宣言をした高校生からのボールを枚方交野交通安全協会会長へと見事にパス。選手らは「車などに自分の存在を知らせる反射材を事故防止に役立ててほしい」と呼びかけました。



▲3歳。近くの神社で七五三



▲6歳ごろ。休日には家族で山田池公園へ。

枚方は私の原風景

影のために何度も帰省しました。連日の撮影も、出発点はもちろん枚方。新しく、きれいに変わっていく街の中で、私の原風景は今も変わらずそこにあるような気がしています。

生まれてから大学卒業まで、枚方市に住んでいました。中学からずっと京阪電車に乗って通学していたため、枚方市駅周辺の景色は、私にとつての原風景です。学校帰りには当時の蔦屋書店に立ち寄り、気になった本やCDを買うことが何よりの楽しみでした。思えば、そこで触れた多くの作品が、今の私の活動にもつながっているように思います。

枚方思い出の1コマ 家族

ひらかたかぞく

枚方ゆかりの著名人の皆さんが秘蔵の写真とともに思い出を語ります。

第85回 ほり 堀 陽子さん



映画監督。平成6年生まれ、枚方市出身。同志社女子大学在学中に制作した『彼女の手料理』が平成27年、世界各地で開催される短編映画制作イベント「48 Hour Film Project (フォーティーエイト・アワー・フィルム・プロジェクト)」の大阪大会で学生特別賞を受賞。卒業後は映像業界へ。令和3年、短編映画『美しい国』が国際映像コンテスト「DigiCon6 ASIA (デジコン・シックス・アジア)」に入選。令和8年、長編初監督作『いつかの走馬灯で』が劇場公開予定。

編集後記

今回の特集で「言語や文化の違いも個性」という話を聞きました。「日本人と外国人」ではなく、それぞれが違う個性

をもつ「人と人」という捉え方をすれば、外国から来た人と接するとき、もっと肩の力を抜くことができそうです。



編集者 N